

地域に内在し世界を構想する JCAS Review

地域研究 Vol. 16 No. 1

総特集

ロシアとヨーロッパの狭間 ウクライナ問題と地域史から考える

福田宏／岩下明裕／遠藤乾／川島真／林忠行
服部倫卓／大串敦／溝口修平／重松尚
板橋拓己／辻河典子／石野裕子／宮崎悠

論文

ミャンマー中央乾燥地域における 農村労働力流出の決定要因

ニャンウー県一農村調査より
水野敦子

論文

現代ロシアにおける民族運動のなかの 「民族文化」表象とその限界

クリャシェン(受洗タートル)の「民族的祭り」を事例に
櫻間瑛

●地域研究コンソーシアム / JAPAN CONSORTIUM FOR AREA STUDIES

「巻頭言」ダイイシユの戦略転換

白杵 陽

004

「総特集」

ロシアとヨーロッパの狭間

は
な
ま

—— ウクライナ問題と地域史から考える

「総特集にあたって」ロシアとヨーロッパ——狭間の地域研究

福田 宏

008

「座談会」地域と地域の間を読み解くために

岩下明裕・遠藤乾・川島真・林忠行

016

福田宏(司会)

「第一部」ウクライナをみる視角

「第一部にあたって」移ろうマイダンの風景とウクライナ危機

服部倫卓

040

ウクライナの求心的多頭競合体制

大串 敦

046

ウクライナの国民形成とサッカー

服部倫卓

062

ウクライナ危機をめぐる二重の相互不信

溝口修平

077

リトアニアからみたウクライナ問題

重松 尚

091

【第II部】両大戦間期の中央ヨーロッパ

「第II部にあたって」「危機の時代」における東と西の狭間

パン・ヨーロッパとファシズム

——クレーデンホーフ・カレルギーとヨーロッパの境界

福田 宏

110

ヴァイマル期ドイツにおける「西洋」概念の政治化

——ヘルマン・ブラッツと雑誌『アーベントラント』

板橋拓己

137

ロカルノ体制批判とハンガリー地理学

——テレキ・パールの「ヨーロッパ」論から

辻河典子

155

「大フィンランドは祖国と同様である」

——エルモ・カイラとカレリア学徒会の地域構想

石野裕子

173

戦間期ポーランドのマイノリティと居住地

——アポリナリイ・ハルトグラスの残留型シオニズム

宮崎 悠

196

【論文】

ミャンマー中央乾燥地域における農村労働力流出の決定要因

——ニヤンウー県農村調査より

水野敦子

215

現代ロシアにおける民族運動のなかの「民族文化」表象とその限界

——クリヤシエン(受洗タタール)の「民族的祭り」を事例に

櫻間 瑛

240

第四回(二〇二四年度)地域研究コンソーシアム賞 受賞作品 書評

『地域研究』二四巻二号 特集へのコメント

『地域研究』二五巻一号 特集へのコメント

296

284

269

ロシアとヨーロッパの狭間^{はざま}

ウクライナ問題と地域史から考える

ウクライナを取り巻く情勢は長期化する様相を見せている。国際政治上の力学が変化し、地域間の勢力バランスが揺らいだ結果、その「歪み」が狭間に位置する地域に表れているのだろうか。

本特集では、ウクライナと中央ヨーロッパに焦点を当て、現在と過去の両方の視点から、この問題について考えてみたい。本特集が目指すのは、狭間の地域研究である。

第一部

ウクライナをみる視角

二〇一四年のウクライナ政変とロシアの介入は多くの人を驚かせた。ここでは、複雑で分かりにくく見えるウクライナ問題について、国際関係や政治構造、サッカーといった多様な側面からアプローチする。

第II部

両大戦間期の中央ヨーロッパ

旧東欧諸国はEUに加盟し、ヨーロッパへの「復帰」を実現したといわれる。だとすれば、ウクライナとの違いはどこから生じたのだろうか。ここでは、歴史的な視点からロシアとヨーロッパの間について考える。

『地域研究』刊行にあたって

グローバル化の進む今日、世界の各地は緊密に連関し、また共通の課題に直面しています。その変化や課題が展開されているのは、人々の生きる現場である「地域」です。『地域研究』は、地域の総体的理解を目指す地域研究のフォーラム誌として、世界各地を対象とする多様な研究を結び、地域の視点から問題を提起し、「地域から世界を考える」ことを目標に刊行されます。

『地域研究』は、地域研究にかかわる全国の研究教育機関、研究プロジェクト、学会、市民組織や国際機関などが参加する地域研究コンソーシアム（JCAS）に編集委員会をおき、多様な研究対象地域やアプローチをもつ研究者が協力して編集しています。年2回の刊行はJCAS事務局を担当する京都大学地域研究統合情報センターが行っています。

投稿のご案内

『地域研究』では、特集企画案および個別論文を公募しています。特集企画案は編集委員会で検討し採否を決定します。個別論文は、査読を経たのち、編集委員会で採否を決定します。公募要領および執筆要項などの詳細は、地域研究コンソーシアムのホームページ (<http://www.jcas.jp>) に掲載しています。また刊行担当 (journal@cias.kyoto-u.ac.jp) にメールにてご相談いただくこともできます。

地域に立脚した視点から広く「世界」を考える企画・論考を歓迎します。ふるってご応募ください。

『地域研究』編集委員会 (2015年9月現在)

白 杵 陽	日本女子大学文学部 (委員長)
猪 口 孝	新潟県立大学
帯 谷 知可	京都大学地域研究統合情報センター (刊行担当)
竹 中 千 春	立教大学法学部
中山 大 将	京都大学地域研究統合情報センター
西 芳 実	京都大学地域研究統合情報センター
福 田 宏	愛知教育大学地域社会システム講座
柳 澤 雅 之	京都大学地域研究統合情報センター
山 本 博 之	京都大学地域研究統合情報センター

地域研究 Vol.16 No.1

初版発行 2015年11月30日
編 集 地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会
発 行 京都大学地域研究統合情報センター
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46
journal@cias.kyoto-u.ac.jp
http://www.cias.kyoto-u.ac.jp
制作・発売 株式会社 昭和堂
〒606-8224 京都市左京区北白川京大農学部前
電話075-706-8818 / FAX 075-706-8878
振替01060-5-9347
http://www.showado-kyoto.jp/

印刷 亜細亜印刷

© 地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会 2015

Printed in Japan

ISSN 1349-5038

ISBN978-4-8122-1519-7